

## APP、ISO 26000 基準に沿って持続可能性目標を前進

大手監査機関 SGS から、アジア太平洋地域で業界初の「優良」評価を獲得

2012 年 10 月 16 日、インドネシア・ジャカルタ—— [アジア・パルプ・アンド・ペーパー・グループ \(APP\)](#) のインダ・キアット・タンゲラン工場 (IKT) は、ISO 26000 社会的責任基準に関する SGS の独立評価で「優良」レベル評価を獲得しました。世界的な大手独立系監査機関の [ソシエテ・ジェネラル・ド・サーベイランス \(SGS\)](#) からこの評価を受けるのは、アジア太平洋地域で業界初のことです。

ISO 26000 は、組織統治、労働慣行、環境、公正な事業慣行、消費者問題、コミュニティへの参画、コミュニティの発展に関する一連の世界的に認められたベストプラクティス指針です。IKT は、5 段階評価でレベル 4 を達成し、「優良」評価を獲得しました。この評価は、SGS の「ISO 26000 に関するパフォーマンス基準」に基づいています。

SGS インドネシアのマネジングディレクターの Guy Escarfail 氏は次のように述べています。「SGS パフォーマンス ISO 26000 手法の目的は、社会的責任のさまざまな分野で、組織がいかにパフォーマンスを向上させられるかを確認することです。我々は、APP のような企業が当社の手法を選択して継続的な改善を重視し、内外のステークホルダーへのコミットメントを証明することを確認できて満足しています。APP に対しては、パフォーマンスの継続的な改善と評価を可能にするために、持続可能な分野における評価基準と最善慣行が提供されました。」

この新たな「優良」認定は、6 月 5 日に立ち上げられた [APP 持続可能性ロードマップ 2020 年ビジョン](#) を補完するものです。このロードマップは、持続可能性に関する社会・環境面のベストプラクティスに向けた同社の行動計画を詳細に示しています。ISO 26000 指針は、人権、従業員の福祉、地域社会の活性化を含む持続可能性ロードマップの目標に沿っています。

APP の持続可能性・ステークホルダー担当役員の [アイダ・グリーンベリー](#) はこの評価を歓迎し、プログラムの拡大を約束しました。「APP は、紙パルプ業界における責任ある世界的リーダーになるための努力をしています。ISO 26000 基準は、責任ある事業慣行というより大きなコミットメントに向けた最初の一步に過ぎません。次のステップは、この成功したプログラムを他の工場でも同様に実施することであり、早ければ 2013 年にも他工場での独立評価を実施できる見通しです。」

「発展途上国で事業を展開する成長企業として、当社は持続可能な開発を事業の柱に位置づけています。我々は、社会的に責任ある行動の統合と、お客さま、従業員、NGO、ビジネスパートナーなど、我々を取り巻く多くの方々との持続可能な関係の推進を確実にするために、ISO 26000 指針を採択しました。」

この工場は、品質マネジメントシステムの ISO 9001 や環境マネジメントシステムの ISO 14001 を含むさまざまな認証も取得しています。IKT はまた、1996 年にインドネシアで初めて ISO 14001 認証を取得しました。APP インドネシアについて：

アジア・パルプ・アンド・ペーパー・グループ (APP) は、インダ・キアット紙パルプ会社、ピンド・デリ紙パルプ会社、チウィ・キミア製紙会社、ロンター・パピルス紙パルプ会社、エカマス・フォルトゥナなど、インドネシアにある多くの工場で生産されている紙製品の総合ブランドです。インドネシアに本社を置く APP は、120 ヶ国以上の国々でその製品を販売しており、その生産設備の大部分は LEI と PEFC による CoC（加工・流通過程）認証を取得しています。

APP は、複数の保護活動を支援しています。これには、スマトラ島のリアウ州にある 17 万 8,000 ヘクタールのギアム・シアク・ケチル-ブキット・バツ生物圏保護区、同じくリアウ州にある 10 万 6,000 ヘクタールのセネピス・トラ保護区が含まれます。ほかに APP が参加する野生動物保護活動には、カリマンタンのクタイ・オランウータン・プログラム、ウジュン・クロン国立公園でのジャワサイ保護活動があります。

#### APP の持続可能性ロードマップ 2020 年ビジョンについて：

2012 年 6 月 5 日、アジア・パルプ・アンド・ペーパー・グループは、次の 10 年とその先を見据えた持続可能性ロードマップ 2020 年ビジョンを発表しました。これは、環境パフォーマンスの向上、生物多様性の保護、コミュニティの権利保護に対する APP のコミットメントをさらに拡大するものです。このプロセス全体を通じて、APP は持続可能性ロードマップで説明した目標に照らしてその進捗状況を透明性を持って定期的に報告することを約束しました。主要な目標には、2015 年までにすべての原材料を植林地からの調達とすることや、2020 年までにすべてのパルプ材供給業者に持続可能な森林管理（SFM）認証を取得させることが含まれています。

ロードマップの土台となるのは、責任ある原料調達と加工方針（RFPPP）です。そのため、事業全体の保護価値 (HCV)、伝統、市民の権利の保護が不可欠な要素となります。APP が着手したこの計画は、当社の持続可能性目標の達成を目的とする NGO、政府、お客さま、地域コミュニティの参加を含めた継続的なマルチステークホルダーのアプローチを反映しています。詳細については、下記ホームページをご参照ください：

[www.rainforestrealities.com](http://www.rainforestrealities.com)、[www.asiapulppaper.com](http://www.asiapulppaper.com)

#### SGS について：

SGS は、世界有数の検査・検証・試験・認証企業です。当社は、品質・高潔性に関する世界的ベンチマークとして認められています。従業員 70,000 人以上を擁する当社は、世界 1,350 カ所以上のオフィスと研究所からなるネットワークを運営しています。詳細についてはこちらをご参照ください：[www.sgs.com](http://www.sgs.com)

#### ISO 26000 について：

2010 年 11 月に公表された ISO 26000 は、企業・団体が社会的に責任ある形で事業を行う方法に関する指針を提供しています。これは、社会の健康と福祉に貢献する倫理的で透明な方法で行動することを意味します。

**本件に関するお問い合わせ先:**

エイピーピー・ジャパン株式会社  
環境・PL 対策ユニット  
寺崎 孝穂  
Tel: 03-5217-1256  
Email: t-terasaki@appj.co.jp

APP 広報代理店  
バーソン・マーステラ  
田中 彩  
Tel: 03-3264-6701  
Email: aya.tanaka@bm.com